

## 令和6年度 第1回嘉麻市文化財保護審議会議事録（要点筆記）

1. 審議会等の名称「令和6年度 第1回 嘉麻市文化財保護審議会」
2. 開催日時：令和6年6月10日（金） 14時00分～16時00分
3. 開催場所：嘉麻市役所 碓井総合庁舎 3階研修室
4. 公開又は非公開の別：一部非公開
5. 出席者  
委 員：嶋田光一（会長）、長谷川清之（副会長）、石瀧豊美、小林知美、氷室崇元  
竹川克幸、佐々木隆良  
執行機関：教育長：木本寛昭、生涯学習課長：末永康洋、  
生涯学習課長補佐兼文化推進係長：松浦宇哲、文化推進係：尾方禎莉
6. 傍聴人数：0人
7. 次第  
開会のことば  
(1) 教育委員会あいさつ  
(2) 委嘱書交付  
(3) 事務局・委員の自己紹介  
(4) 会長・副会長の選出について  
(5) 議事・報告  
①令和6年度の文化財保護事業等について  
②嘉麻市文化財まちづくり推進団体について  
(6) その他  
(7) 人権研修  
閉会のことば

### 【 会 議 録 】

#### ○会長・副会長の選出について

会長：嶋田光一委員、副会長：長谷川清之委員 に決定した。

#### ○議事・報告

##### (1) 令和6年度の文化財保護事業等について

(事務局)

1. 令和6年度の文化財保護体制について、2. 指定文化財の毀損等について、3. その他の主な文化財保護事業についての報告を行った。

(審議会)

①係名が「文化推進」となった理由、②地域の文化資源を活かしていくための他部署との関わり、③毀損した指定文化財の保存方法、④民話の動画制作の経緯や題材の選択理由、⑤文化資源の広報・活用にあたっての他自治体との連携等についての質疑があった。

(事務局)

①生涯学習課の図書・美術館係と文化財係が統合したこと、また地域の文化資源を活用する業務が今後増加することを考慮しての名称変更となっている。

②市内部で文化観光まちづくりを行うためのプロジェクトチームを立ち上げており、まちづくり、観光等にかかる複数の部署と横断的な連携を図っていくこととしている。

審議会意見：地元高校生や企業との連携も合わせて検討してもらいたい。

③修繕等は地元負担が生じることから即座の対応が難しい。保管場所の移動なども含めて検討していく必要がある。

審議会意見：修繕等の経費捻出が難しい場合は、修復専門家の育成を行っている大学への相談も選択肢の一つとしてある。また、地元管理が難しいようであれば、地元の寺院なども含めて多角的に検討してみる必要がある。

毀損した指定文化財の保存については、調査研究にも努めてもらいたい。

④文化財ボランティアの協力を得てスタッフで制作している。図書館で今回の民話を題材にしたイベントが開催されることもあり、連携が図れるよう動画の題材とした。

⑤朝倉市とは観光部門において連携を図ってきた実績があるが、昨年度から文化財部門でも連携を取りつつある。引き続き推進していきたい。

審議会意見：県史跡となった大隈城跡は遺構の残りも良く、また見学が容易にできる筑豊でも稀な山城であるので、さらなるPRを期待する。

## (2) 嘉麻市文化財まちづくり推進団体について

(事務局)

「嘉麻市文化財まちづくり推進団体認定規程」により令和5年度に推進団体に認定された松岡氏庭園保存会の令和6年度活動計画について報告を行った。

(審議会)

①文化財の自然との関わりについて、②団体活動の意義等について質疑があった。

(事務局)

①令和5年度の事業として環境アセスメントを行い、貴重な生態系の存在が確認された。行政のみでは困難であった新たな価値づけができたことを高く評価している。

審議会意見：自然環境や生態系の保存は、県も施策として重視している。この方面の補助金等についても活用できるものがあるのではないか。

②地元と行政が連携して文化財保護に努めることが、これからより重要となる。松岡氏庭園保存会に続き推進団体が増えることを期待すると共に、本制度が文化観光まちづくりを推進していく上で重要な制度になると考えている。

## ○その他

令和6年度から新たに実施する古文書講座の告知を行った。

上記に相違ないことを確認する。

令和6年6月14日

会議録確認者：会長 嶋田 光一